

タブレットを活用した質問の作成、回答、自己表現 (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 Program 2 Think Good Night, Sleep Tight.)

- ① 書く ② 協・整 ③ タブ ④ TV ⑤ Google スライド

【ここがポイント！】

①「本文の内容について発問を作成する」

Google スライドを活用し、個人で発問を考え、思考を可視化する。作成した発問について、文法上の間違いや問いの立て方などを協働的に確認し合い、一人1問以上の発問を作成する。

②「発問を選択して解答する」

作成された発問の中から答えたいものを選択して、本文の内容を読み、答える。ノートに書いた解答を共有することで、友だちの表現から学ぶことができる。

【実践の目標】

本文の内容の理解を深め、様々な質問に答えながら自分の考えや感じたことを表現することができる。

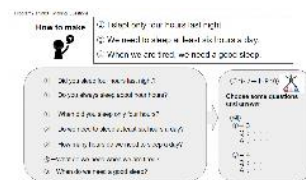
【実際の場面】

1. Google スライド を使用して質問を作成する

音読後、本文の内容を分担し文章に関する様々な質問 (Yes/No question, WH question, Open-ended question) を作成した。

2. 協働学習を行う

作成した質問を互いに読み合い、動詞の形 (原形、過去形等) や前置詞の適切な使用など、文法上の間違いや気付きを伝え合った。



3. 中間評価をする

指導者が、作成した質問の内容や文法について評価し、フィードバックを行った。

4. 質問を選択し、繰り返し音読をする

質問に答えるために本文の必要な部分を繰り返し音読し、理解を深めた。

5. 質問に答える

様々な種類の質問 (Yes/ No question, WH question, Open-ended question) の中から5つ選択し、答えた。

6. 解答を評価する

質問に対して解答した。その際、自分の知っている情報、事実や自分の考え等を付け足すようにした。生徒が提出した解答は、指導者が評価した。

7. 表現の共有をする

内容や表現に関して参考となる解答をスライドに提示し、フィードバックした。

【成果と課題】

【成果】

- 思考を可視化することができ、文法上の間違いや発問の仕方等について、互いに気付きを伝え合うなど、主体的な学習を行うことができた。
- 生徒が作成した質問に答えることで、考えたことや感じたこと及びその理由等を簡単な語句や文を用いて表現し、英文の量や質の向上を図ることができた。

【課題】

- 「書くこと」に時間をかけすぎたため、「話すこと [やり取り]」とバランスよく言語活動を行うことができるよう活動の工夫が必要である。

熊野町立熊野中学校

